



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

MANKIND IS ONE— 人類はひとつ
Build Bridges of Friend Ship 世界中に友情の
Throughout the World 橋をかけよう

1982~'83 R.I 会長 向笠広次
寺田会長 クラブターゲット 大切にしよう 好い仲間と 愛するクラブ

第 234 回 例会 58 年 2 月 17 日 第 240 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
47 名	38 名	82.61%	100%

欠席者

二見、合田、蜂屋、石渡、伊藤（英）、菊地、松崎、鈴木（病欠承認者 1 名）

本日のプログラム 2 月 24 日

卓話「音楽の世界」 有次昭二君

次 週 予 定 3 月 3 日

卓話「孤独の赤ちゃん」上田利久君

司 会 SAA 辻 国明君

ソングリーダー 上田 利久君

「それでこそロータリー」

ビ ジ タ ー

今野丁三君（横浜旭）、篠原 誠君、森田淳二君（厚木）、蒲田秀雄君、藤本 孝君、黒川 孝君、浜野忠良君、宮沢義武君、牧岡良和君（大和）

幹 事 報 告

郡司 守君

- ①5周年実行委員会は来週開催することになります。
- ②東慶州 R C 友好クラブ締結協議訪韓団が釜山のコモドアホテルに宿泊の際、上村会員が同ホテルに宿泊中の長崎県対馬 R C の日高歳秀会員との話題が友好クラブ締結に及びお祝いのスマイルをいただきましたので報告します。
- ③ガバナー月信のファイルをお持ち帰り下さい。

会 長 報 告

会長 寺田 伍六君

①会報委員会の委員長である伊藤会員の病欠が久しく、今後も無理が見込まれますので、今後委員長に後藤会員、副委員長に富沢会員、委員に福本会員、杉山会員、上田（勝）会員の3名になっていただき、これからの会報作成に御協力を願いたいと思います。

②先週東慶州 R C との友好クラブ締結約定の為に訪韓したメンバーが、無事全員帰国しましたので報告します。

委 員 会 報 告

国際奉仕委員会 委員長 北砂 富三君

地区ガバナーより 1983~84 年度の交換学生募集の要項が来ていますので、オーストラリア、オランダ等の行先ですが高校生で優秀な方の推薦をお願いします。

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央 1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南 1-4-4
八千代信用金庫大和支店 4 階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会 長：寺 田 伍 六 一
会長イレト：長 谷 川 清 一
副 会 長：猪 熊 唯 夫
幹 事：郡 司 守
会報委員：伊藤(宣)・後藤・富沢

親睦活動委員会 委員長 山中 忠誠君

本日のお祝いの人々を紹介します。

誕生日 竹之内弘美君(2月22日)
辻 国明君(2月11日)
御夫人誕生日 辻君小百合夫人(2月15日)
古木君磯子夫人(2月17日)
創業記念日 竹之内弘美君(2月22日)

会報訂正

第233回例会(第238号)の本日のプログラムを有沢昭二君に、国際奉仕委員会報告②の「協会員」を「協力会員」に訂正。

ロータリーはこれでいいのか

日本のロータリーの現状はこれでいいのかという問題—①根本の体質がデモクラシーとヒューマニズムに根ざした奉仕と友愛でなく、社会的地位の顕現誇示になっていないか。②例会に出席することは奉仕の精神の充電であるべきと思われるが今の例会の在り方がそれに適合した環境になっていないが食事代が高過ぎはしないか、これによりロータリーの本質が曲解されていないか。③ロータリーは官僚化されてないか。やたらと役員が多くなっている。もっと簡素化して本来の奉仕活動に重点を置くべきではないか。④クラブ奉仕が余りにも多岐繁雑になり過ぎてはないか、R Iの示す奉仕の在り方はレストランのメニューの如きもので、全部を食べようとすると消化不良を起こしていないであろうか。⑤日本のロータリーは国内でロータリーのために約150億円を使っていると言われるが(1976年現在)その中で50~60%が食事で、20~30%が本部地区などの庶務費、大体15~20%が奉仕活動に活用されている。この点の検討が必要であると思うが?

ロータリーは他人に対し思いやりをもち、人間の幅を大きなものに造りあげるものである。

奉仕の出来る人間をつくるのが主眼であり、ロータリーの本心を掴んで世の中を清く明るくするために努力し、ロータリーを通じて世の中を良くするようにしたいと念願している。

(東京西 藤森眞生代
ロータリーの友 76年3月号)

スマイルボックス 委員 大高 安男君

対馬RC 日高会員 韓国東慶州RCとの姉妹クラブ締結式に遠く韓国までご苦労様です。これからの友好が増々発展されることを心よりお祈り申し上げます。「釜山コモドアホテルにて」

横浜旭RC 今野会員 初めて御伺い致しました。よろしくお願ひします。(今まで大和市は月曜日だけでしたが今後は木曜日も度々参りたいと思います)

厚木RC 森田会員 久しぶりにお邪魔致しました。よろしく。

厚木RC 篠原会員 お世話様になります。よろしくお願ひ申し上げます。

大和RC 蒲生会員 黒川会員、牧岡会員、宮沢会員、浜野会員、お世話になります。

寺田会長他17名訪韓団一同 会員の皆様韓国東慶州RCとの姉妹クラブ仮締結を無事終え、又訪問団全員病気もなく元気に帰って来ました。

この間お留守番を載き有難うございました。後藤君 韓国訪問に際し飛行機で北砂団長以下皆様に心配をかけましたが、この様に元気になりましたのでスマイルをします。

辻君 49才の「4×9=36才」(本当の気持)のお誕生日をお祝い載き有難うございました。

又我が愛する小百合迄お祝を!

古木君 家内の誕生日祝有難うございます。今日は早く帰って点数かせぎをします。

竹之内君 創業記念日とお誕生日をお祝い載き有難う御座居ます。

東慶州ロータリークラブ
姉妹クラブ結縁訪問団報告

寺田会長

去る2月11日より3日間に亘り、韓国東慶州ロータリークラブを訪問し、姉妹クラブ締結約定書の調印取交しを行って参りましたが、式典その他について報告しますと、当日午後2時半釜山空港到着、鄭会長他数名の会員が出迎えられ、レイを頂戴して大変丁寧な歓迎を受けました。4時慶州市庁舎に表敬訪問し、黄市長より歓迎挨拶を受け



た後、同市長と大和市の説明案内等をして歓談し、同市庁舎を辞し5時慶州東急ホテルに到着、6時より隣接の朝鮮ホテルに行き、同ホテルグランドボールルームで開かれた東慶州RC例会及び調印式に出席した。6時半点鐘、国旗荣誉礼、両国歌斉唱、国際ロータリー綱領の朗読、ロータリーソングの斉唱に続き、新会員の紹介が行なわれましたが、その時の新会員の宣誓に強い印象を受けました。この方々の加入で54名の会員を擁するクラブになられたようであります。

次に7時、姉妹提携盟約書の会長サイン交換並にバナーの交換を以って目度く約定の取り交しを万雷の拍手と共に終了し、互いにプレゼントを受け、私共は韓国の王冠をいただきましたが、喜び合いました。盟約書の内容は……

大和中、東慶州ロータリークラブ姉妹提携盟約書(仮)

第一条 大和中ロータリークラブと大韓民国東慶州ロータリークラブハ友爱ト親善ノロータリーノ精神ニ則リ両国民ノ相互理解ト善隣友好ノ誼ヲ深クシクラブ相互間ノ親善協力ヲ目的トシテ姉妹提携スルコトヲ盟約スル

第二条 両クラブハ両地域社会ノ発展ノ為ニ文物ノ交流観光ノ振興並ビニ関係資料ノ交換ニ協力スル

第三条 両クラブハクラブノ事業ノ相互扶助職業上ノ情報ノ交流ヲ図リ会員相互間ノ親善ヲ深メ共ニロータリアンノ資質ノ向上ノ為ニ協力スル

コノ仮盟約書ハ五月本調印ト同時ニ消滅スル

1983年2月11日

大和中ロータリークラブ会長 寺田 伍六

東慶州ロータリークラブ会長 鄭 吉和

以上であります。

続いて両クラブ会長の記念の挨拶がありましたが、鄭会長の挨拶要旨は「東京近郊に位置する大和中クラブと東慶州クラブとは創立、会員数も近似し、韓国日本の歴史の永い国柄から考えても、偶然から発生したとはいえ良き因縁であったと思います。これから両クラブは龍頭蛇尾に終わることなく、着実に交誼を交し、交流に努力を重ねて、友情の架橋の役を立派に果し、両市の発展と両クラブは無窮の進展を遂げたいと思います。」

私は、まず大和中クラブ使節団が身に余る歓迎を受けたことを謝し、「貴国慶州は、日本への文化伝来の接点であり、古来の日本人の故郷であつたろうと考えるもので、永い歴史の交流からも親戚であり、このたびの姉妹クラブ締結には、素晴らしい御縁に結ばれたものと謹んで慶祝の意を表するものであります。このうちはお互いが、笑顔で触れ合い、“気心が解る”ところに向笠RI会長の

ターゲットである「人類は一つ」を肌で感じる事が出来るよう希求して参りたいと思います。」と述べました。

続いて来賓として挨拶に立たれた黄慶州市長と崔国際ロータリー第 370 地区ガバナーノミニーは要旨次のように述べられました。「このたび東慶州ロータリークラブと大和中ロータリークラブが姉妹結縁させたことはお慶びにたえません。両クラブが交流することに始まって、我々は日本を知り、また日本は韓国を知ること努力しなければなりません。心と心の橋、そして友情の橋がここに架けられた次第ですから、これを基として慶州と大和、そして韓国と日本の友好親善に寄与されることを切願いたします。」

最後の来賓挨拶として小武第 259 地区国際奉仕委員長は、「両クラブの御努力で、やっと花が咲き結縁されましたことは、地区 4,600 名の喜びであり、敬意を表します。今後は友情を通じて国際奉仕に活動されることを祈ります。」と述べられました。

以上の通りの式次第で午後 8 時式典終了、引続き乾盃とパーティに移りましたが、盛り沢山のバイキング形式による御馳走は誠に立派なものでありました。会員相互の勧談の中に最後に記念撮影を行い、午後 9 時閉会しましたが、2 月 11 日は旧歴 12 月 30 日に当り、又親クラブの慶州ロータリークラブでは創立 20 周年記念日に当たっていたこと、そして例会場に鄭会長夫人始め会員方の婦人も参加されたことを申し添えます。

それから午後 9 時より、市内韓国風料亭に案内され大変な歓待をいただき、ロータリアン同志で言葉の障害を乗り越え、時間の過ぎるもの忘れて肝胆相照し親睦を深め合ったのであります。

翌日慶州市内を見学、仏国寺、天馬塚、国立博物館を鄭会長ともども観光し、夕刻釜山到着。13 日は釜山空港まで鄭会長他数名の会員が見送りにわざわざ出向かれましたが、この日は旧正月の元

日に当り、街の様子は大変静かであり、民族衣裳に着飾った子供や婦人が華やかで、美しいその姿に見とれましたが、又見送りの会長と会員は、韓国古来の礼装を着し、大変立派なのに驚きました。午後 4 時成田到着。

終りに感想として、訪韓に当り北砂団長以下団員の総てが協力して、親睦に努め立派にその任を果し得たものと自負しております。ほとんどの方が韓国に初めてで、両クラブが理解し合う上にも大変有役であったと思っています。ここに訪韓団解散に当り、無事を喜び、御協力に感謝します。

北砂団長（国際奉仕委員長）

私は、対外的なことは、特にクラブとクラブのことは、会長にお任せしていた訳でその任が充務まったかどうかわかりませんが、訪韓団の団長として 18 名の会員のチームワークと、如何に楽しく心よく今回の 2 泊 3 日の訪問を終えることが出来るかどうかには気がつくただけであります。18 名のメンバーがロータリアンとして立派に行動され、全員何の病気も事故もなく帰国出来ましたことを先ず喜びたいと思います。そして加えて 5 月 15 日の本調印の為に来日される東慶州ロータリークラブの会員諸兄に対して、心よくおもてなしをしたいと思うものであります。

釜山ホテル

